

成長の階段を駆け上がるステージアッププログラム
(習慣力・実践力編)

成長の階段を駆け上がるステージアッププログラム

(習慣力・実践力編)

本レポートでは、ステージアップ（人材の成長）に必要な「人間力を高めるための土台づくり」のうち、習慣化する力を向上する（成果につながる行動を増やす）ことと、実践力を強化するフォローアップについて紹介する。

I. 習慣化する力を向上しよう

1. 誰もが“よりよくしたい”と願っている

盛長機械（仮称）の営業部に所属する飯田（仮名）は、「人間力を高める研修」に参加している。研修終盤では、倒産企業A社のケーススタディーに取り組み、A社が倒産した真の原因について、社会情勢など社外の環境でなく、社内の要因という視点から考えている。

飯田がケーススタディーを読むと、A社の会長は、代表権を譲った現社長のやり方に不満を感じ、「もっと強引に進めないと」と考えていた。一方、社長は、会長や古参幹部の強引なやり方ではいけないと感じ、「社員の秘めた力を引き出そう」と思っていた。

中堅社員や若手社員は、会長と社長のやり方の違いに戸惑っており、「社内で方向性や進め方をすり合わせればよいのに」と考えていた。皆がそれぞれの立場で、「よりよくしたい」と願っていたのだ。しかし、A社は倒産した。

2. 行動に移さなければ変化は生まれない

飯田は、倒産の要因を突き止めようと何度も文章を読み返しながらか、同じグループの阿部（仮名）と議論を重ねた。阿部は、「A社の倒産の原因は、互いに承認していないからじゃない？ どの登場人物も自己責任の意識が低いよ。それに、コミュニケーションの基本がなっていない！」と言った。続けて、「それぞれの立場で会社をよくしようと思っているけど、口ばかり。まるでうちの会社（盛長機械）みたいだ」と言う。飯田も苦笑いをしながら、「そう、うちの会社は、文句ばかりの人が多。積極的に行動に移している人は少ないよね」と振り返る。

サンプルレポート

本レポートは、サクセスネットで公開している
ビジネスレポートの一部を公開したサンプルです。
サクセスネットサイトにログインした後、全文を
閲覧することができます。